

東京江東ロータリークラブ

2025～2026年度 テーマ

よいことのために手を取りあおう

RI 会長 フランチェスコ・アレツォ
地区ガバナー 中川 雅雄

ROTARY Life

～継承～

クラブ会長 末次茂雄

今日の卓話

パラオボッチャ事業に
ついて
伊藤 海 会員

次回例会案内

年末家族会

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会
報告

11/18 会員数 18 名中 11 名
出席率 64.71%
【訂正出席率】11/4 訂正無し



会長・幹事報告



- 12月1日(月) 守ろう人権の集い【本場職安センター】
末次会長
- 12月2日(火) 休会
- 12月9日(火) 理事会・クラブ年次総会



<委員会報告・その他>

【回覧】：なし

【配布物】：週報 NO.16

次回通常例会は、12月16日(火)年末家族会(夜間例会)となっております。
欠席されます方は、事務局までお知らせください。

- ・伊藤海国際奉仕委員長：パラオにボッチャの寄付報告
- ・堀親睦委員長：国際大会(台湾)へ親睦旅行の案内
- ・広報委員会：11 月ロータリーの友の紹介と次年度(谷ーガバナー年度)の進捗報告

ニコニコボックス



東京臨海東 RC：本日の卓話宜しくお願ひします。

東京臨海東 RC・PG 補佐・羽鳥貞雄君：はとり会でお世話になっております。中川さん頑張って！

東京臨海東 RC・伊勢亀由喜子君：いつもお世話になっております。本日中川さんの応援に参りました。

末次会長：中川様、本日はよろしくお願ひします。

伊藤三千男君：中川さん、今日の卓話楽しみに待って居りましたので、宜しくお願ひ申し上げます。

鈴木君：中川剛様、卓話よろしくお願ひします。

小嶋君：皆様のよいよ来月は12月です！

大澤君：当クラブでは、補助金申請を考えています。卓話でしっかり勉強したいと思います。

小野君：中川様、本日の卓話楽しみにしております。

大木君：中川剛様、卓話よろしくお願ひします。

堀君：今日も、よろしくお願ひします。

伊藤(海)君：本日も宜しくお願ひします。

大屋君：本日もよろしくお願ひいたします。

野村君：中川様、本日は宜しくお願ひ致します。

合計 81,000 円
累計 841,000 円

2025年10月のロータリーレート (1ドル149円)

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

- 例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日12時30分～13時30分
- 事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737



ロータリー財団委員会

中川 剛氏

(東京臨海東ロータリークラブ)



◆ロータリー財団のはじまり

アーチ・クランプ R I 会長が 1917 年 (大正 6 年) アトランタ国際大会で、世界規模で慈善、教育、社会奉仕において“世界で何か良いことをしよう”と提案し基金を作った。その基金はミズーリ州カンザスシティのロータリー会員から寄付された 26 万 50 千から始まった。

◆ロータリーの始まり

1905 年 2 月 23 日シカゴロータリークラブ、4 名で設立。ポール・ハリス (弁護士)、ガスターパス・ローア (鉱山技師)、シルベスター・シール (石炭商)、ハイラム・ショレー (洋服商) 1910 年「全米ロータリークラブクラブ連合会」の設立。第 1 回ロータリー大会 (シカゴ)、16 クラブの代表が集合。1912 年「国際ロータリー連合会」となった。4 月カナダ、ウィニペグ RC 設立。8 月ロンドン RC 加盟認証。1922 年「国際ロータリー」名称採択、ロサンゼルス国際大会

◆アーチ・クランプの生い立ちから R I 会長

1869 年 6 月 6 日ペンシルベニア州カヌートビルという小さな町に生まれました。子供のころ、一家はオハイオ州クリーブランドに転居し、ここで 1911 年にクリーブランド RC の設立会員となりました。

1913 年にクラブ会長となり、奉仕活動の資金を確保するためにクラブが積立金を設けることを提唱しました。

1916-17 年度ロータリー会長に選出されアトランタ大会を迎えました。

◆1928 年に正式に「ロータリー財団」と命名され、管理委員会が設けられた。アーチ・クランプが初代管理委員長として 1928 年から 1935 年まで務めました。

◆ロータリー財団の使命

ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

◆チャリティナビゲーターにより 17 年連続で最高評価を得ています。

チャリティナビゲーターは、四つの主な指標「リーダーシップと適応力」、「説明責任と財務」、「文化とコミュニティ」、「インパクトと成果」、に基づいて非営利団体の全体的な健全さと実績を分析します。これらの指標は、組織の慈善目的、健全性、財務能力を寄付者が理解し、組織の活動成果や組織とのかわり方を知る上で参考になるものです。(ー2025 年 10 月 By 国際ロータリー)

◆ロータリー財団のプログラム

①ポリオ撲滅、②ロータリー平和フェローシップ、③補助金

寄付金総額 (2024.6) \$ 351,664 (単位千米ドル) この 87%がプロジェクトに使われています。内訳は下記の通りです。

①ポリオ撲滅 \$146,000

1985 年 (昭和 60 年) より「ポリオプラスプログラム」を設置

②ロータリー平和フェローシップ \$32,000

1999 年ロータリー平和センタープログラムを創設

③補助金

グローバル補助金 \$72,000

地区補助金 \$29,000

◆ポリオプラスプログラム

・ポリオプラスの「プラス」の意味は、最初は破傷風等の 5 つの伝染病のことを指していましたが、その後、ポリオの研究によって得ることのできた多くの研究結果のことを指すようになりました。*5 つの伝染病:

はしか、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳

・ポリオは感染した人の排せつ物で汚染された飲用水や食品を通じて広まる腸内ウイルスです。手や指を介して口から侵入主に 5 歳未満が感染します。感染の連鎖を断ち切ればウイルスを根絶させることはできる。

・今まで投入した資金は 24 億ドル以上

・ポリオが根絶されなければ今後 10 年で、毎年 20 万人の子どもが身体まひに苦しむ可能性があります。世界的な医療費が大幅に膨らみポリオの影響を受ける人びとの生活の質が著しく悪化します。

・医療費の削減: 世界的なポリオ根絶活動により 1988 年以来すでに、270 億ドルの

医療費が節約されています。2050 年までに、さらに 140 億ドルが節約されると予測されています。

・ビル & メリンダゲイツ財団からの上乗せ

ロータリーがポリオ根絶のために集める寄付に対し、ビル & リンダ・ゲイツ財団が 2 倍額を上乗せします。

・野生型ポリオウイルスによる発症数

1988 年流行国 125 か国 35 万人→2024 年流行国 2 か国 99 人

残る 1%は、地理的に予防接種が届きにくい地域に根強く残っており、予防が最も困難とされています。

・世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI); Global Polio Eradication Initiative 国際ロータリーは、GPEI を結成し、ポリオ根絶活動をしています。

・World Health Organization 世界保健機構

・Rotary 国際ロータリー

・CDC 疾病管理予防センター

・Unicef ユニセフ

・Gates Foundation ゲイツ財団

・Gavi ワクチンアライアンス

◆ロータリー平和フェローシップ

一定の申請資格要件に基づき修士号プログラム、専門能力開発終了証プログラムに分かれている。世界に提携大学が 7 校あり日本では国際基督教大学にあります。

◆補助金

・グローバル補助金

実施国と援助国のロータリークラブパートナーになって、平和環境と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・地域社会の経済発展・環境の 7 分野で、最低 3 万ドル以上の活動をする。

申請は一年中いつでもできます。

・地区補助金

1 年以内に完了する比較的小規模な活動で、実施地は日本でも海外でも可。弱者救済や地域の緊急のニーズに対応する活動。2026-27 年度の地区補助金プロジェクトの申請スケジュールがあります。2026 年 1 月から 2 月申請受付期間。

◆ロータリー財団へのご寄付

①年次基金 150 万、②恒久基金 30 万、③ポリオプラス基金 39 万、④国際ロータリー第 2580 地区ロータリー平和フェローシップ基金 20 万

①③④のご寄付が、それぞれの活動に充てられます

す。②のご寄付は恒久財として運用しその収益を地区補助金やグローバル補助金の主な原資となっています。

年次基金への寄付は、3 年間投資され、その投資収益が財団運営費に充てられます。地区補助金やグローバル補助金の主な原資になります。

年次基金 (シェア) へのご寄付は、次の二つの資金に分けられます。

・47.5 パーセントが WF (国際親睦活動資金) へ

・47.5 パーセントが DDF (地区財団活動資金) へ

・5 パーセントが管理運営費へ

財団は、地区が参加できる国際的な補助金やプログラムに WF を使用します。

地区は、地区財団活動資金 (DDF) を利用し、地区が選択した財団の補助金やプログラムに資金を充てます。

*参考資料

・2025-26 年度版 国際ロータリー第 2580 地区、地区ロータリー財団委員会

2025 年 4 月 9 日開催地区研修協議会ロータリー財団部門会議に配布の資料を基にしています。

・マイロータリー等の資料を参考にしました。